

結章 生物基礎と未来への行動			
学習指導要領の項目		(1)ア(ア)㊦㊱、(1)ア(イ)㊦㊱、(1)イ、(2)(ア)㊦㊱、(2)イ、 (3)ア(ア)㊦、(3)ア(イ)㊦㊱、(3)イ	教科書 p.174～177 4 時間

主な学習活動	時間	ページ 教科書	重点	記録	評価の観点と方法		十分満足できる生徒の評価評価の観点と方法例	努力を要する生徒への指導の手立て
結章 生物基礎と未来への行動								
多様な価値や知識の融合が、今までの延長にはないアイデアと行動を生み出す ・生物基礎の学習内容と身近な社会現象を結びつけることで、新たな価値を生み出すことを理解する。 あなたらしい、あなたにしかできない「未来への行動」を考える ・生物基礎の学習内容と日常生活の違和感を関連付け、自分らしい行動について考え、表現する。 考えを行動に移すために必要な視点はなんだろうか ・考えた行動を実行するためのプロジェクトを計画する	4	174 ～ 177	知		【知技】生物基礎を通して学習した内容を、日常生活や社会、自分の体で起こっている生命活動などに結び付けることで、新たな価値を生み出すことを理解している。[発言分析・記述分析・行動分析]		生物の特徴から生物の多様性と生態系までの学習内容を振り返り、生物現象に関するキーワードや的概念を取り上げ、課題解決につながるアイデアを考え表現している。その中で、生物基礎で学んだ内容が実社会の課題と関連があり、自由な発想をすることで課題解決につながる場合があることを理解している。	㊦p.175 の1～8の例を参考に、生物基礎での学習内容と身近な課題（自分自身の課題や社会課題）との関連性がないかを考えるよう助言する。また、他者との対話の中でヒントが得られることがあることを助言し、他者と協働することを勧める。
					【思考】生物基礎を通して学習した内容を、日常生活や社会、自分の体で起こっている生命活動などに結び付けることで、生じた違和感に注目し、自分らしい行動について考えたり、表現したりしている。[発言分析・記述分析・行動分析]		「未来への行動」について、自身の感情と生物基礎の内容を結びつけて表現している。また、感情が動いた理由を記載するとともに、どのようなアクションができるかを具体的に記載している。	感情の例や行動の例を参考にしたり、web で検索したりして自身の感情を表現する言葉を考えるように助言する。
			態		【態度】生物基礎を通して学習した内容を、日常生活や社会、自分の体で起こっている生命活動などに結び付けることで、新たな価値を生み出すことを理解したり、自分らしい行動について考えた内容を表現したり、他者に伝えたり、学びを深めたりしようとしている。[発言分析・記述分析・行動分析]		考えを行動に移すために必要な視点について理解し、表現する方法を考え表現している。また、いつ、どこで行うか、誰と一緒に成し遂げるか、生物基礎の学習内容や関連する知識について考え表現している。	表現する方法、いつ、どこで行うか、誰と一緒に成し遂げるか、知識との関連のうち、考えやすいものから記載するように助言する。中でもプロジェクトを達成するためには、他者に助けてもらうこと（他者を巻き込むこと）が重要であり、一人で考えるのではなく、他者と一緒に考え行動に移す方法を探るように助言する。

重点・・・重点的に生徒の学習状況を確認する観点
記録・・・記録に残す観点